

「富山県スポーツ推進プラン（案）」に対するご意見の概要及び県の考え方

○基本施策2「運動好きな子どもの育成と地域と連携した学校体育・スポーツの充実」について

No.	ご意見の概要	県の考え方
1	<p>運動部活動の地域移行は、受け皿となる団体の整備、指導者の確保、活動場所等の課題があげられる。中でも受け皿となる地域クラブやスポーツ少年団などで、子どもたちのニーズに対応できるのか心配である。</p> <p>また、現在の地域クラブ等の情報はどこからどのように知り得ることができるのか、今後の情報も含めわかるとよい。(P17)</p>	<p>国の計画においては、運動が苦手な生徒や障害のある生徒も含めて、どの生徒も地域においてスポーツに親しむ機会が確保されるよう、地域におけるスポーツ環境の整備充実を推進するとしています。</p> <p>県では、生徒の持続可能で多様なスポーツ環境を構築するため、運動部活動の地域連携・地域クラブへの展開に向けた市町村の取組みを支援します。また、スポーツ少年団や地域クラブ等の主体的な活動を支援し、子どもたちの多様なニーズに対応すべく、スポーツ機会の充実を図るとともに、研修会を定期的で開催するなど指導者の資質向上に努めます。さらに、教員と専門的な技術指導力を有する地域のスポーツ指導者等が協力・連携を図り、学校体育・スポーツ活動の一層の充実に努めます。具体的には、指導者を検索・照会するシステム、「パスネットとやま（指導者人材バンク）」を活用するなど、各学校が地域のスポーツ人材と連携・協力する体制の整備に努めます。また、県内のスポーツ少年団、地域クラブ等の最新のスポーツ情報を収集・把握し、積極的な情報の発信に努めます。</p>

○基本施策3「全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成」について

No.	ご意見の概要	県の考え方
2	<p>未来のアスリート発掘事業で育ったジュニア層の選手たちの目標となるようなトップアスリートの資質・競技力向上に係る最新の機器の整備等により一層取り組んで欲しい。(P22)</p>	<p>選手強化を推進するため、ソフトボールや軟式野球では、投球をデータ化し、球速、球種、球質の向上、投球動作や配球を分析・活用できる機器の導入や、ハンドボールやホッケーでは、撮影から編集までできるAIカメラや、競技中の心拍数を測定・数値化し、運動強度を判断するためのサポート機器を導入するなど、新たな視点での競技力向上事業を実施しています。</p> <p>また、IoT や DX 等を活用できる指導者の育成も急務であり、専任のアナリスト（情報・戦略面で高い専門性をもってサポートする人）の養成を支援し、デジタル技術等を活用する機会を創出することで、トップアスリートの資質・競技力の向上に努めます。</p>

○基本施策5「スポーツを通じた関係人口の創出と地域の活性化」について

No.	ご意見の概要	県の考え方
3	<p>新たな武道館整備等を契機とするスポーツ環境の魅力向上に向けて、県総合運動公園をさらに人が集まり、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりと同時に、スポーツを通じた地域活性化や魅力ある本県のPRができる環境も作っていくべきだ。(P32)</p>	<p>新たに整備する武道館は、武道の公式大会や日常の稽古、指導者講習会で利用しやすい施設とし、武道競技の振興・競技力の向上に努めます。また、武道以外の県民の日常的なスポーツ利用、冬季のスポーツの場となる施設とし、県民が様々なスポーツ活動に取り組める場とすることで、スポーツ振興を図ります。さらに、武道館整備を含む県総合運動公園と周辺スポーツ施設等の連携と魅力を向上し、地域の活性化や関係人口の創出を目指します。</p> <p>なお、県では、現在、県版スポーツコミッションの設立に向け準備を進めており、本県の優れたスポーツ環境の県内外へのPRやプロ・トップスポーツチームと地域との連携促進等を通じて、スポーツによる県全体の活性化に取り組みます。</p>